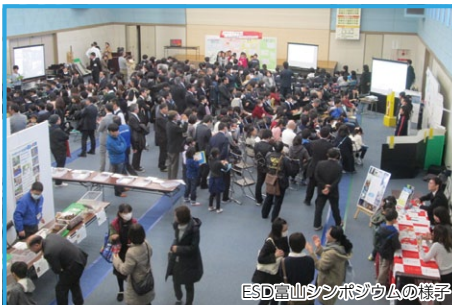




ESD富山シンポジウムの様子

公益社団法人 大学コンソーシアム石川

北陸における循環型社会形成に向けたESDの推進

一般助成

2年目

実践

大学用のESD・循環型
社会形成カリキュラム
整備

2科目

教員用ESD研修

23回

活動の全体目標に
対する達成度

70%

課題

現在は紙や電気、水の節約やリサイクル等、極めて限定的に狭い範囲で行われている北陸の循環型社会形成に向けた取組みを、より広範かつ活発なものにすること。

活動内容

- ①大学教育を対象とする循環型社会形成に向けた科目のカリキュラム開発と試行的な実施体制の整備。
- ②初等中等教育における循環型社会形成に向けた各種カリキュラムや課外活動に関するモデル事業の実施とその報告書の作成、関連の研修の実施。
- ③シンポジウムの開催、企業用パンフレットの作成等による企業や地域社会の循環型社会形成に向けた取組み(ごみの減量化・資源化や顔の見えるリサイクル)推進に向けた普及啓発。



石川県フードバンクフォーラムでの発表

成果と工夫したポイント



成果

3年事業の2年度目の終了時として、大学用のカリキュラムの開発、試行、初等中等教育におけるカリキュラム開発、研修等は順調に進展しており、富山シンポジウムには約400人の参加者が得られた。

工夫

北陸における様々なESD活動を調整することによる異なる活動間の相乗効果の確保。

今後の課題

北陸の企業や地域社会による食品廃棄物の減量化、顔の見えるリサイクルループの推進等についてはなかなか目に見える成果が出ないので、引き続き一層の努力をする必要がある。